

2016年10月28日

2016年度第2四半期決算説明会 質疑応答サマリ

沖電気工業株式会社

Q:今年度の見通しについて、為替の前提を見直した影響をセグメント別に教えてください。

A:全体では、売上高で73億円、営業利益で22億円のそれぞれ減少要因。売上高影響のセグメント内訳はメカトロシステムで18億円、プリンターで55億円の減少。営業利益影響のセグメント内訳はメカトロシステムで5億円、プリンターで20億円の減少、情報通信で若干の増加影響となります。

Q:中国のATM市場が踊り場にあるとのことですが、この状況は長引いてくるのか、現在の市場環境について補足説明をお願いします。

A:この10年の普及で、沿岸部を中心とした大都市でのリサイクルATMの普及は一巡したと思われます。今後は、内陸部の都市への普及に加えて、時期が経過すると沿岸大都市の既設ATMのリプレース需要が始まり、持続的な成長が見込めると想定しておりますが、その成長率は今までよりは穏やかなものになります。これまでの導入ペースが非常に急だったため、現在は銀行側に投資に対する一服感があり、ATM市場全体が一旦踊り場に入ったと考えています。

さらなる省力化のニーズは残っており、今後顕在化してくると考えていますが、その一方で国産ベンダーも伸長してきており、以前よりも競争環境は厳しくなってくると予想しています。

(注)本資料における予想、見通し、計画等は、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。なお、内容につきましては理解しやすいように部分的に加筆・修正をしております。